

様似郷土館だより

— 2024年12月号 Vol. 9 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地 / TEL 0146-36-3335 / Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

11月には博物館の集まりでお話をさせていただき、町外の学芸員から有用なお話を色々伺うことが出来ました。昆虫の標本収蔵で欠かせないドイツ箱も他館より提供いただき、これからのオフシーズン中の館内活動で活かしていきたいと思っています。冬場は展示の改良、計測、資料のデータ化や執筆など館内活動にも注力していきます。東京に帰省した際には、国立科学博物館の特別展「鳥」を見てきました。精巧に作られた鳥のはく製が大量に展示され、鳥の生態や分類体系が分かりやすく解説されていました。野外観察や写真撮影、鳴き声を聞いて楽しむことが多い鳥ですが、博物館としては剥製標本も展示して様似の鳥を紹介できるといいな～と感じました。他にも群馬と埼玉の県立博物館に訪れ、恐竜などの大型展示に圧巻されました。皆さまも是非、旅先でその地域の博物館に訪れてみると、地域の自然や歴史を知り、その土地の魅力をより体感できると思います。(榎本尊)



カンカン講座 11月

【報告】

11月23日(土)に「グラス彫刻&化石を詳しく見てみよう」が開催されました。様似郷土館の化石(アンモナイト、巻貝、二枚貝、ウニ、化石の詰まったノジュール)をお持ちし、実際に化石を触りながら解説をしました。加藤学芸員から化石の解説やグラス彫刻の方法が説明されました。参加者の中には自筆のアポイ岳を用意して彫刻する方や自分の好きな絵柄やキャラクターを彫刻していました。私もペットの爬虫類や両生類のシルエットを彫刻し、大変満足でした。



昆虫紹介 「ツヤアオカメムシ」

秋になると、暖かい家屋の中に侵入してきたカメムシを目にする機会が増えるかと思えます。今回紹介するツヤアオカメムシは道内での記録は少なく、本州以南で生息しています。スギ、ヒノキ、ミカンなどを食し、大量発生する場合があります。写真は10月25日に中央公民館の壁で発見した個体です。道内では珍しいため、お近くで見かけたら、郷土館までご連絡ください♪



カンカン講座 12月

【予告】

「年越し準備！！オリジナルしめ飾りづくり」

【日時】12月21日(土) 10:00~11:30

【場所】様似町中央公民館 2階小ホール

【申込】様似郷土館まで(0146-36-3335)

【期限】12月18日(水)まで

【参加料】無料

【内容】しめ飾りを一緒に作りましょう♪

飾りつけたい装飾品の持ち込み大歓迎！

2024年12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
	休館日	休館日				

10:00~16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

【月 日】 10月29日(火)、30日(水)

【場 所】 新ひだか町博物館

【参加者】 18名

【内 容】 研修会1日目に「様似郷土館における連携事業の紹介」と題し、当館で実施した連携事業を紹介しました。カンカン講座やワクワクドキドキサイエンスなど町内外との連携を強化し、活動を行っています。

2日目は新ひだか町のアイヌ協会の活動を見学させていただきました。モレプでのサケ漁やチセを見学し、地元の小学生とともに解説を聞きました。



【掲載報告】

北海道通信 日刊教育版 Tea Room 掲載

【月日】 11月12日(火)

【内容】 北海道内の教育関係の部署に配架される新聞「北海道通信」にて、記事を掲載いただきました。掲載された記事は郷土館に掲示中で、一部別刷りも配架しております。



【参加報告】

アポイカレッジ「幌満出身のホースマン・函館大経～古文書等から新たに判ったこと～」

【月日】 10月14日(木) 【場所】 図書館視聴覚室

【講師】 川島 利一郎氏(白井市郷土資料館運営協議会委員)

【内容】 幌満の和助さんや孫の函館大経についての講演が実施されました。講演前には、幌満の和助地蔵や案内看板を实地見学しました。今後、看板の内容がブラッシュアップされるようです！



【参加報告】

アポイ岳リター除去

【月日】 11月13日(水)

【場所】 アポイ岳 馬の背

【内容】 様似町は日本で唯一ヒメチャマダラセセリが生息しており、生息地のアポイ岳での生息環境保全に従事しました。昨年、馬の背のハイマツを伐採し、今回はハイマツの落ち葉の層(リター層)の除去を実施しました。今後、ヒメチャマダラセセリの食草のキンロバイや高山植物が増え、捕食者のアリの減ることを願うばかりです。



【講師報告】

様似中学1年生による郷土館見学

【月日】 10月22日(金) 【場所】 様似郷土館

【内容】 様似町の「歴史」と「自然」を調べに様似中学の1年生(2班)が見学しに来てくれました。自分の住んでいる町の歴史や自然を学習しているようで、成果は12月11日(水)の地域参観日に発表されるそうです♪

— 年末年始の休館について —

今年も多くの来館者に訪れていただき、ありがとうございました！

2024年12月30日(月)～2025年1月6日(月)までの1週間を休館といたします。

2025年もどうぞ、よろしくお願いいたします♪

